

令和2年6月20日

## 防衛大臣の岩国市訪問について（事後）

本日（20日）午前、河野防衛大臣がシンフォニア岩国を訪問し、下記のとおり面談が行われましたので、報告します。

## 記

- 1 日時 令和2年6月20日（土）午前9時～9時30分
- 2 場所 シンフォニア岩国 大会議室
- 3 来訪者 防衛本省：河野防衛大臣、山村海上幕僚長、中村地方協力局長 ほか  
中国四国防衛局：森田中国四国防衛局長 ほか
- 4 対応者

区分	首長等	岩国基地問題議員連盟連絡協議会
県	小松副知事	柳居議長（代表）、榎本議員（副代表）、畑原議員（幹事長）
岩国市	福田市長	藤本議長、桑原議員（副代表）
周防大島町	椎木町長	荒川議長（副代表）
和木町	米本町長	兼本議長
大竹市	入山市長	細川議長

## 5 岩国市側の発言要旨

## (1) 福田岩国市長

- 市民の中には、なし崩し的にFCLPが行われるのではないかと懸念があるので、岩国基地をFCLP予備施設に指定をしないよう、改めて強くお願いする。
- FCLPの恒常的な訓練施設の整備に際しては、馬毛島を候補地とされているが、訓練機の往復の頻度が上がらないよう訓練機や人員の滞在施設も併せて整備されるようお願いする。
- 住宅防音工事に関しては、空母艦載機移駐完了後2年余りが経過し、第1種区域の見直し作業に入ると聞いているが、艦載機滞在時の状況を踏まえた見直しをお願いする。事務所・店舗等への対象施設の拡大についてもお願いする。
- 再編交付金については、令和3年度で期限を迎える。移駐後の騒音などの負担や国防への地元の協力と貢献を考慮され、交付金制度が確実に継続されるよう、強くお願いする。
- 米軍の新型コロナウイルス感染症対策に理解はするが、この影響により、基地関係者の一部の保護者が子供の通学を控えさせる状況になった。子供たちが通常どおり、安心・安全の中で、学校に通えるよう、今後、米側との調整を含め、適切に対応していただくようお願いしたい。

次頁に続く

(2) 桑原岩国市議会議員（岩国基地問題議員連盟連絡協議会 副代表）

- これまで国の防衛政策に十分協力してきた。現在、コロナで大変な状況であるが、是非、国からも十分な支援をいただきたい。メニューは考えてお示ししていきたいので柔軟性をもって対応いただきたい。

(3) 藤本岩国市議会議長

- コロナでフレンドシップデーが中止となった。是非、地域振興のため、ブルーインパルスの飛行を岩国でも行ってほしい。

6 河野大臣の発言要旨

(1) 冒頭あいさつ・総論

- 日頃より、我が国の安全保障の観点から日米同盟の重要性、自衛隊や米軍の活動に御理解を賜り、感謝申し上げます。
- 岩国飛行場は、米海兵隊の航空機を始め、米海軍の空母艦載機部隊や海上自衛隊の航空部隊も、配備・運用されており、これらを受け入れいただいていることについても、深く感謝申し上げます。
- 今後とも、地元の御要望や御意見をしっかりと聞きしながら、安心・安全対策、地域振興策に全力で取り組んでまいります。

(2) 福田岩国市長への回答

**F C L P**

- 国としては、F C L Pについては、当面硫黄島で行われるものと考えており、そこは在日米軍としっかり調整をしながら、地元にも迷惑にならないよう努力して参りたい。

**F C L Pの恒常的訓練施設の整備（馬毛島）**

- 馬毛島については、環境調査を始め、これから色々な配置のプランの検討に入る。そうした中で、しっかりと地元にも説明して参りたいと考えている。

**住宅防音工事の対象拡大**

- 第1種区域の見直しについては、艦載機の滞在期間をしっかりと考慮に入れながら行って参りたい。また、事務所、店舗等の防音工事への対象区域の拡大については、地元の要望を受けて、事務的な協議を、しっかりとスピードアップできるように取り計らって参りたい。

**再編交付金**

- 令和4年度以降の交付金については、しっかりと防衛省として努めて参りたい。

**新型コロナウイルス対策に係る通学に関する措置**

- コロナの感染対策については、子どもたちに迷惑をかけることがあってはならないと思っている。子どもたちに迷惑のかかっている点については、私からもお詫びを申し上げます。今後しっかりと地元の話も伺いながら、子どもたちに迷惑がかからないよう様々な対応策を考えて参りたい。岩国市や、その周辺については、感染症の防止対策をしっかりとやられていると伺っているので、我々としても迷惑をかけないように、きっちり対応して参りたいと思っている。

(3) 桑原岩国市議会議員（岩国基地問題議員連盟連絡協議会 副代表）への回答

**新型コロナウイルスによる影響に対する市への支援について**

- 新型コロナウイルスに対する、市の支援については、まずはメニューを拝見した上でしっかりと取り組んでいきたい。

(4) 藤本岩国市議会議長への回答

**ブルーインパルスの飛行について**

- ブルーインパルスの飛行については、全国各地から要望があり、ここでのお約束はできないが、検討したい。

7 福田岩国市長コメント

本日、防衛大臣からは、岩国飛行場の関係自治体に対し、我が国の安全保障の観点から、日米同盟の重要性などについて理解を示していることについて感謝の意が示されました。

私からは、まず、公務御多忙中の中、岩国を訪問されたことに感謝を申し上げ、空母艦載機滞在時の騒音状況を踏まえた第1種区域の見直しや事務所・店舗等への対象施設の拡大、さらには、再編交付金制度の確実な継続などについて要請しました。

大臣からは、第1種区域の見直しや防音工事の対象施設の拡大、再編交付金制度の確実な継続について、前向きな回答を頂けたものと考えております。

また、面談後、愛宕スポーツコンプレックスにも大臣を案内し、これまで日米交流の拠点として、当施設を活用しながら、スポーツや文化の日米交流促進に取り組んでいることも説明しました。

今日の意見交換や施設の視察を通じ、防衛大臣におかれましては、地元の声に触れることで、地域の実情や想いをしっかりと受け止めていただけたものと考えています。

空母艦載機の移駐が完了し2年余りが経過する中、今後とも、地域の現状を国にしっかりと伝えると共に、市民の皆様の不安や懸念が払拭されるよう、安心・安全対策と地域振興策の更なる充実に向け取り組んでまいります。

以上

---

担当

基地政策課 (電話 29-5024)  
議会事務局庶務課 (電話 29-5190)